



見えないマントも、お見とおしだ！



すこし時間をとって、このすばらしい写真を、よくすみずみまで見てください。これは光っている星雲の中にある、赤ちゃん星たちを写した新しい写真です。ちゃんと細かく全部が見えましたか？ 実はこれ、引っかけ質問です。なぜってここには写っていない天体があるのですから！

写真の右上に黒い傷のようなものがいくつかあるのが、わかりますか？ これらの部分に星雲の光は写っていません。なぜならボーク・グロビュール[※]という暗い雲が視界をさえぎっているからです。これらのボーク・グロビュールは、その向こうの明るい雲からの光を吸収して、そこには何も無いように見せかけているのです。[※] 訳者注：ボーク・グロビュール（ボック・グロビュールともいう）は、オランダ生まれのボークさん（ボックさん）が発見したグロビュール（小球）という意味です。

この写真の明るく輝（かがや）いて写っている赤ちゃん星たちのように、実はボーク・グロビュールの中にも赤ちゃん星がかくれています。しかしボーク・グロビュールの濃（こ）いちりやガスは、これらの赤ちゃん星を包んで、見えないマントのようになっているのです。

でもこの見えないマントには欠点があります。天文学者が、赤外線を検出する特別な望遠鏡をボーク・グロビュールに向けると、中が見えてしまうのです。赤外線は私たちの目には見えませんが、家のリモコンでテレビをコントロールするのに使っています。そして赤外線は、ボーク・グロビュールのチリの中を通りぬけることができるのです。

ですから、ボーク・グロビュールが見えないマントで一しけん命に星をかこうと努力しても、天文学者の強力な望遠鏡にはかないません！

COOL FACT

1940年代にボーク・グロビュールを発見した天文学者、バルト・ボークは、これらの暗い星雲の中で星が生まれるかもしれないと考えました。しかし、赤外線望遠鏡を使って彼の仮説が正しいと証明されるまでには50年近くかかりました！

